

ご存じですか?

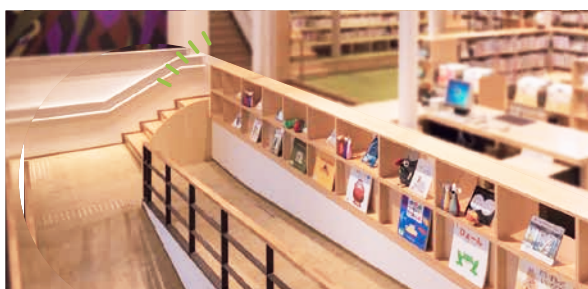
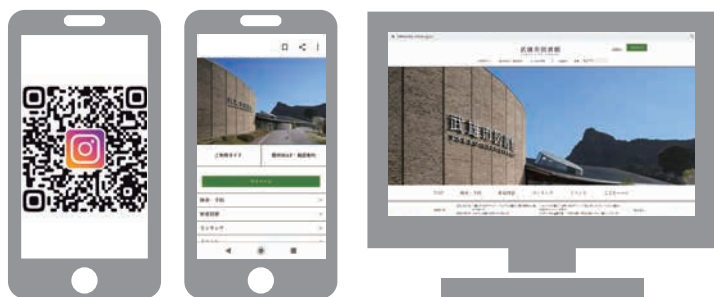
図書館のフェア展示のご紹介

武雄市図書館では、司書が2ヶ月ごとにテーマを変えて選んだ本を、棚に並べ皆様にご紹介する「フェア展示」を行っています。本館とこども館の両方で、場所ごとに異なるテーマで本を選んでいきます。皆様には、いつもの棚に並んでいる時とは違った視点で、本を選んでいただくことができます。

フェア展示の内容は、それぞれ設置している場所で直接手に取ることができるほか、ホームページではフェアテーマの紹介と対象図書を閲覧することができます。また、Instagramではフェア展示している対象図書の中から1冊ピックアップした紹介文を見ることができます。

棚を広く使ったフェア展示のほかに、ジャンルごとの場所で小規模なフェア展示を行っている場合もあります。

図書館の中で、ぜひ探してみてくださいね。



TOPIC

令和4年度 古典講座 参加者募集



会場 武雄市文化会館 中集会室 A **定員** 30名

開催 令和4年 **6月8日(水)** 10:00～12:00
※毎月1回第2～4水曜日

参加費 無料 **募集開始** 5月1日(日)

受付場所 武雄市図書館 返却カウンター (TEL0954-20-0222)

森鷗外の世界に触れてみませんか?

今年のテーマは、昨年に引き続き『森鷗外を読む(三) 小説休止?の約二十年間』です。

鷗外が小説を発表しなかった1892～1908年頃に何を考えていたのか、新聞雑誌等に発表した時事評論から読み解きます。はじめてのご参加もお待ちしております。



令和3年10月、武雄鍋島家一門の家柄である武雄十兵衛家の資料約600点が、武雄市に寄贈されました。現在、武雄十兵衛家の多彩な資料を紹介する企画展「銀杏を掲げる」を開催しています。

武雄十兵衛家は、武雄領主・後藤家信(1563～1622)の4男・十兵衛(頼統)(1590～1643)が武雄姓を名乗ったことに始まります。その後、後藤家は茂綱(1582～1654)から鍋島の姓を名乗るようになり、武雄十兵衛家は武雄鍋島家の上級家臣として領主を支えてきました。

武雄鍋島家の家紋は銀杏(抱き銀杏)です。文様に細かな違いはあるものの、武雄十兵衛家も銀杏紋を使用しました。銀杏紋を掲げ、武雄を名乗った武雄十兵衛家資料を、ぜひご覧ください。

会場 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

会期 令和4年 5月22日(日)まで **観覧料** 無料

開館時間 日曜日～木曜日：9時～17時
金曜日・土曜日：9時～18時 ※会期中無休
ゴールデンウィーク期間中：9時～18時

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、内容を変更・中止する場合があります。

Gallery Talk 学芸員による展示解説



展示資料のご紹介

武雄十兵衛から11代目の武雄要人(頼均)は、戊辰戦争において武雄領主・鍋島茂昌が羽州(現在の秋田県・山形県方面)へ出兵した際、兵士100名を率いる大隊長として出動しました。



◀ 旗
(武雄十兵衛家資料)

羽州戦争の時に使用された旗指物。右下の角を染めるのは、佐賀藩伝統の隅取(角取)旗の特徴。武雄の「武」の字を上部に、家紋である銀杏紋を中央にデザインしている。



◀ 肩印
(武雄十兵衛家資料)

官軍側の兵士が敵方との判別のために肩に付けたもので、武雄要人も身に付けた。白布には、東北地方での戊辰戦争における明治新政府側のトップである「奥羽鎮撫総督」の朱印が捺されている。

発行：武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館 9:00～21:00 年中無休 Tel.0954-20-0222 Fax.0954-20-0223

ホームページ：<https://takeo.city-library.jp/>

歴史資料館 9:00～17:00 月曜休館 Tel.0954-28-9105 Fax.0954-28-9205

ホームページ：<https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>



※災害時等、緊急時は休館いたします。